

# 初勝利 今年こそ 全日本大学女子サッカー

## 八学大部員が抱負



小林市長(中央)に全国大会での活躍を誓う八戸学院大女子サッカー部員ら

ハ  
P

サッカーの第29回全日本大学女子選手権に出場する八戸学院大女子サッカー部の4年生4選手と畑中孝太監督らが10日、八戸市庁を訪れ、小林真市長に初の全国大会1勝を誓った。

八学大は6年連続6回目の出場。今季の東北地域大学女子リーグで2位となり、1位の仙台大とともに出場権を得た。選手権は24日に開幕。兵庫県三木市で行われる1回戦で、福岡大(九州代表)と対戦する。

畑中監督とともに市庁を訪れたのは、MF渋谷帆香主将(福島・富岡高出)、同下館陽美(千葉学園高

出)、DF佐藤優(富岡高出)、FW佐藤悠乃(山形・鶴岡東高出)の各選手と小川啓示コーチ。

チームの特徴について小川コーチは「ボールを持ち続け、パスなどのアクションを常に起こしていくサッカーを目指している」と紹介。渋谷主将は「これまでの3年間は全国で悔しい戦績だったので、大学最後の年は勝って終わりたい」と決意を語った。

小林市長は「(コロナ禍などで)制約がある中で頑張ってきたと思う。大学時代に積み重ねた練習の成果を発揮できるように頑張ってください」と激励した。(千葉真由美)